

2021年
6月1日発行

ふれあいネットワーク

福祉ひの

発行／ 勤労福祉会館内 日野町社会福祉協議会

〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

TEL 0748-52-1219・1920 FAX 0748-52-2009

E-mail: hureai01@rmc.ne.jp

ホームページ <http://hinoshakyo.or.jp/>



昨年された奥之池あじさい祭りの1枚です。

このあじさいは、奥之池「今日ようないくらぶ」の皆さんが種から植えられたものです。

奥之池では、あちらこちらにそうした季節の花や木が植えられ、来た人を楽しませてくれています。

奥之池「今日ようないくらぶ」の活動については、次号にてご紹介させていただきます。

もくじ

1. 奥之池「あじさい祭り」
2. } 令和3年度日野町社会協議会事業計画・予算
3. }
4. 日野町地域福祉活動計画（第4次プラン）について
5. 民生委員だより / ひだまりだより
6. 社協会費ご協力のお願い / レイカディア大学のお知らせ
7. ちいきの輪
8. よろず相談 / 法律相談 / 善意銀行だより / ほっこりカフェ



令和3年度 日野町社会福祉協議会事業計画・予算

基本方針

少子高齢社会の進展や人口減少、核家族化や単身世帯の増加、一人ひとりの価値観や生活様式の多様化など、社会環境の変化に伴い地域におけるつながりの希薄化、深刻化する貧困問題など、暮らしの基盤である地域社会の状況が大きく変化中、福祉ニーズはますます高まり、複雑化・多様化しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、新しい生活様式の実践例が示され暮らしが大きく変わりました。これにより、人と人とのつながりに制約がかかり、地域では活動の縮小を余儀なくされ、様々な課題が発生し、それらを解決するための取り組みやそれを地域で実行する人材の発掘が必要となっています。

日野町においては「日野町地域福祉・健康づくり・食育計画（第3期）」の必要な見直しが行われ、「日野町地域福祉計画（第4期）」は、計画期間を令和3年度から6年間として策定されました。また、高齢者の生活状況の変化、介護保険制度改正等を踏まえ、「日野町高齢者福祉計画・介護保険事業計画（第8期）」が計画期間を3年間として策定されました。

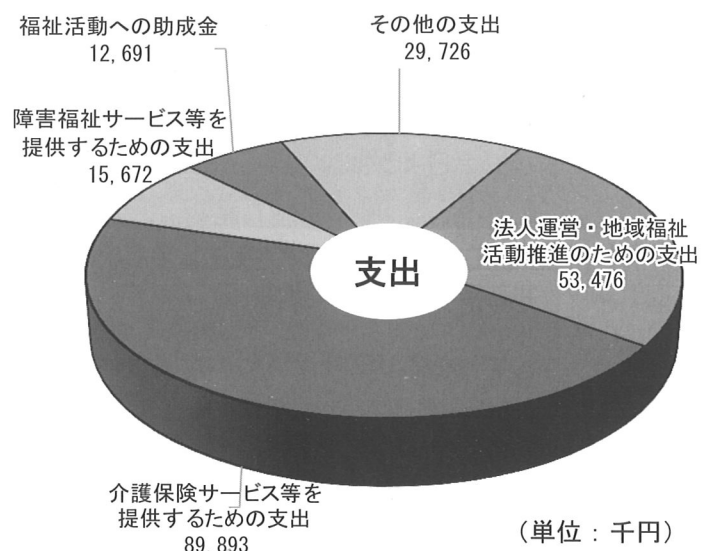
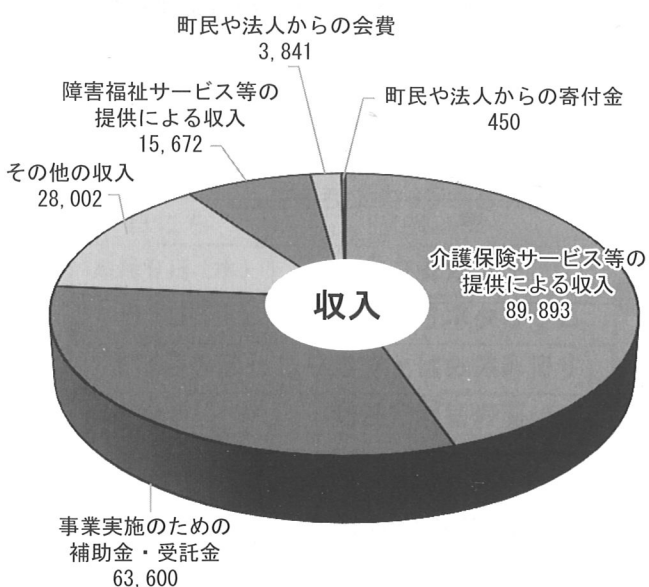
このような状況のもと、日野町社会福祉協議会では、令和2年度が最終年度となった「日野町地域福祉活動計画（第3次プラン）」の考え方を引き継ぎながら、「日野町地域福祉活動計画（第4次プラン）」を策定しました。

令和3年度は、第4次プランの最初の年度となります。社協は「困った時はお互いさま」を合言葉に支え合う地域づくりを目指し、地域住民を始め、ボランティア、民生委員・児童委員や福祉協力員、字福祉会、地区社協、福祉関係団体、行政等と「連携・協議」しながら、地域福祉を推進します。

重点推進事項

1. 地域支え合い活動の支援
2. 相談支援・権利擁護事業の充実
3. 在宅介護支援事業の適切な事業運営
4. 地域福祉を推進するための社協基盤の強化

令和3年度 一般会計予算 総額：201,458,000円



(単位：千円)

事業計画

法人運営事業

- 会務の運営
- 職員の研修と人材育成
- 研究ならびに情報の収集および提供
- 地域福祉権利擁護事業
- 広報啓発活動
 - 広報「福祉ひの」の発行（年5回）
 - ホームページの有効活用
- 福祉活動関係団体等への支援
 - 福祉活動関係団体への支援と助成金の交付
 - 敬老会実施に伴う助成金の交付
- 感染症対策の推進・啓発

地域福祉事業

- 地域福祉活動計画の着実な推進
- 福祉の学習事業
 - 福祉協力員研修会の開催、ちいきふくし講座の実施
 - リモートによる研修会開催の検討
- 住民参加による地域福祉事業
 - 地区社協への支援（子育てサロン含む）
 - 地区社協正副会長会議の開催、字福祉会への支援
 - ふれあいいきいきサロン活動への支援
 - 「心ふれあう福祉のつどい」の開催支援
- 心配ごと相談事業
 - よろず相談・法律相談・常設相談の開催
 - 相談員の研修会・学習会の開催
- セーフティネット関係事業
 - 生活困窮者自立相談支援事業
 - 緊急用食料品等給付事業
- 地域生活支援事業
 - ふれあい通所サロンの開催
 - 在宅介護者のつどい、ほっこりカフェの開催

ボランティアセンター事業

ボランティア講座、小・中ボランティア体験講座の開催
ボランティア団体連絡協議会への支援
ボランティアグループへの助成、ボランティアの育成
子育て活動への支援（「おもちゃ図書館」の開催）

生活福祉資金貸付事業

（滋賀県社会福祉協議会からの受託事業）

総合支援資金
福祉資金
教育支援資金
不動産担保型生活資金

の貸付および相談支援

善意銀行運営事業

善意銀行の周知、善意銀行運営委員会の開催
備品等の整備と貸出し
ひとり暮らし高齢者等への非常ベル・プザー等の設置
住宅災害見舞金の支給

勤労福祉会館管理委託事業

住民から信頼される適切できめ細やかな運営管理
貸館利用のPR
貸館業務での感染予防対策

共同募金配分金事業

敬老訪問、百歳祝、ひとり暮らし高齢者防火訪問
障がい児学童クラブ助成
こどもの日の行事助成
児童遊園地整備助成
福祉教育推進校活動助成
サロン活動助成
地区社協配食サービス事業助成
こんにちは赤ちゃん訪問等

その他の事業

- 介護予防事業
 - おたっしや教室の開催
 - おたっしやフォロー教室・フォローアップ教室の開催
 - 認知症予防「脳いきいきゲーム」リーダー養成講座
 - および「脳いきいき教室」の開催
 - 男性のための運動教室の開催
- 地域支え合い事業
 - 生活支援コーディネーターの配置
 - 東桜谷地区「おしゃべり会」の活動への支援と、
新たな地区での支え合い活動の推進に向けた働きかけ

介護保険事業

- ひだまり事業所にて
- 居宅介護支援事業（居宅介護支援サービスひだまり）
 - 訪問介護・訪問介護相当サービス事業
（ホームヘルパーステーションひだまり）

障害者総合支援事業

- ひだまり事業所にて
- 障害者（児）等居宅介護事業

在宅生活支援事業

- ひだまり事業所にて
- 障害者移動支援事業（町受託事業）
 - 福祉輸送事業

その他の事業等

町と連携した防災対策や防災訓練
地域と連携した防災対策
町および県社協と連携した災害援助

その他団体への支援

民生委員児童委員協議会事務局
日本赤十字社滋賀県支部日野町分区分事務
日野町赤十字奉仕団活動
日野町共同募金委員会

- ア. 赤い羽根共同募金活動（10/1～1/15）
- イ. 歳末たすけあい募金活動（12/1～1/15）
- ウ. 歳末たすけあい募金配分事業

その他

日野町社会福祉施設等連絡協議会への協力
社会を明るくする運動の推進
日野町福祉関係事業への協力

日野町地域福祉活動計画(第4次プラン)を策定しました

期間:令和3(2021)年度～令和8(2026)年度

日野町社会福祉協議会では、令和3年3月に「日野町地域福祉活動計画(第4次プラン)」を策定しました。第4次プランは、第3次プランの考え方を引き継ぎながら、住民をはじめ地域の多様な人・団体・機関と連携することで、住民の抱える生活課題を見逃すことなく、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

なお、基本理念、基本目標、基本計画、実施計画は以下のとおりです。

基本
理念

住民の参加と自治に根ざした やさしさとぬくもりのある福祉のまち 日野

基本目標1 互いに支え合い助け合う地域づくり

【基本計画】

1. 住民同士が集える場所、機会づくり

2. 地域の気づきや見守り・声かけの体制づくり

3. 福祉の学習と福祉教育の充実

4. 地域福祉を推進する人材の発掘と育成

5. 地域の課題発見・支援が必要な人を見逃さない取組

【実施計画】

1. 住民同士がふれあえる機会の充実
2. 小地域福祉活動の支援
3. サロンやカフェの開催と実施
4. 趣味の場づくりと健康や生きがいがづくりの充実
5. 子育て支援に協力
6. 使い勝手の良い集会所づくりの推進

7. 身近な地域における気づきや見守り・声かけの充実
8. 「命のバトン」事業の推進

9. 地域の福祉力向上のための研修会の開催
10. 先進地の視察
11. 福祉教育の推進

12. 福祉協力員制度の充実
13. 民生委員・児童委員活動の充実
14. ボランティアや地域福祉の担い手の発掘・育成・充実
15. 若者の社会参加への呼びかけ
16. 定年退職者への地域活動参加の呼びかけ
17. 地域の支え合いを推進する生活支援コーディネーター(コミュニティワーカー)の設置

18. 地域の困り事・課題に気づく
19. 地域の困り事・課題についての話し合い
20. 住民同士の日常的な支え合いの充実
21. 地域の課題を解決する取組の推進

基本目標2 必要な相談・情報・支援が得られる仕組みづくり

6. 誰でも・いつでも利用しやすい相談窓口体制の整備

7. 介護サービス等の提供

8. 地域福祉活動の環境整備

22. 生活困窮者自立相談支援事業の充実
23. 総合相談の充実
24. 地域福祉権利擁護事業の充実

25. 介護予防事業の実施
26. 介護保険事業及び障害者総合支援事業の充実・強化

27. 暮らしに関わる要聖事項のとりまとめを行う
28. 行政や議会に政策提言
29. 関係機関との協議の場の設定や施設間の連携

基本目標3 安全で安心して暮らせる地域づくり

9. 災害時の支援

10. 感染症対策の推進

11. 社協の基盤強化

30. 平時からの備えを進める(お互い顔の見える地域づくり)
31. 災害時の要支援者対策
32. 災害ボランティアセンターの設置

33. 感染症に関する啓発の充実
34. 感染症の予防の推進

35. 財源の確保
36. 職員の確保とスキルアップ
37. 地域福祉部門と在宅福祉サービス部門の連携・情報共有
38. 活動計画の進行管理

委員の活動と雑感

日野地区 民生委員・児童委員 町 田 勉

昨年度は、民生委員・児童委員の活動も、新型コロナウイルス感染症を避けるために、大きく制限されてきました。地域の社会福祉施設との交流や支援、研修や集会などへの参加も、春・夏を中心に、中止・延期が相次ぎました。

一方で、お一人住まいの高齢者世帯への様々な訪問活動、四カ月健診を終えた赤ちゃんがおられる世帯への訪問、小さなお子さんとお母さんの遊びと憩いの場である「子育てサロン」の協力と支援、緊急事態の際に備える「命のバトン」普及活動などは、通常活動として、感染防止の危機意識を持ちながら取り組んできたところでした。

また、日野地区では、通勤時間帯に車の通行量が増え、危険箇所も多いことから、地域の小学生が登下校する際の交通見守り活動を、昨年度に続いて、年度当初の二週間、実施してきました（年度通して、実施されている区もあります）。

さて、私が民生委員・児童委員をお引き受けして三年余りは、常勤で仕事に出ています。研修会や会議・支援活動など、出席できなかつたり、遅れたりすることは度々ありましたが、仲間の皆さんの温かく支え合う心情に助けられてきました。この心情こそ、私達の活動にまずなくてはならないもののように思いました。

競争を煽って勝ち負けを決めたり、決まり事だから、と断罪したり、知らない・わからない・自分と同じじゃないから、と敬遠したりすることの対極に、この心情はあるのではないのでしょうか。

昨年の三月末、在校生のいない卒業式の後、しばらくして三人の卒業生が私の職場にきました。進路は違えど、異例尽くしの門出に、不満や嘆きの言葉をぶつけてきました。

見えない相手に対して何ができたのか。

「これまでの先輩が誰も経験しなかったことが、時が、経験できる。そう考えればどう?」。希望と夢でいっぱいなのは彼らに放ったのは、こんな言葉でした。ひどいことを言ったものです。

「いつも通り」にはいかなない状況は、まだしばらく続くようです。だったら今なにができるか考えてみる。いい機会かもしれせん。

かいご

ひだまりだより

「命をつなぐ在宅医療」

訪問介護責任者 和田 美代子

ひだまり事業所では、年間計画に基づき毎月研修会を行っています。以前の研修で、在宅介護について、写真絵本・いのちつづく「みとりびと」*の話を視聴しました。

それは、永源寺地区での実際の映像で、高齢で寝たきりになられた方が、本人の希望で長年住み慣れた場所（家）で最期を迎えられるというものでした。

それには在宅介護を支える家族と、医師をはじめとする地域包括ケアシステム（多職種によるチーム連携）の力がありません。また、家族、親しい方の関わりが日常にあり、人という時間を大切にし、死を日常の出来事として捉えて、みんなが感謝の言葉を伝えあっておられました。命をつなぐことの大切さを感じました。

本当は自宅で療養したい、家でみてあげたいと言われる家族の方の声を聞くこともあります。介護に対する考え、価値観は人それぞれです。誰もが不安や寂しい気持ちを持たれています。本人、家族の思いを受け止め、ともに寄り添うことが介護に携わる私たちの大切な役割です。「おむつ交換、清拭はうまく出来ていたかな」、「痛みは大丈夫だったかな」、「笑顔で話が出来ていたかな」等々日々の介護のなかで自分自身に問いかけていきます。

長い年月を歩んでこられた方の、人生の大切な時間に関わらせていただくことは、貴重であり、学びでもあります。心温まる介護で、本人、家族を少しでも支える力になれたらと思っています。

* Youtube動画 ハートネットTV「永源寺での在宅介護」内にて紹介。

<https://www.youtube.com/watch?v=H8DTy9aDpFo>

◆社協会費にご協力をお願いします◆

日野町社会福祉協議会（社協）では、町民皆さまからのお寄せいただく会費を貴重な財源として、「住民の参加と自治に根ざした、やさしさとぬくもりのある福祉のまち 日野」を推進するために様々な事業を行っています。

町民皆さまからお寄せいただく会費は、社協が住民を主体とした活気ある運営と事業の推進を図るために、欠かすことのできない大切なものです。

出費多端の折と存じますが、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

☆会費はこのような事業に使われています☆

法人運営事業	28%	福祉団体活動助成金、地域福祉権利擁護事業
地域福祉活動事業	72%	よろず相談、法律相談、ちいきふくし講座、福祉協力員研修、地区社協・字福祉会・いきいきサロン・子育てサロン活動助成金、福祉のつどい事業助成金、地域福祉活動計画の策定等
合計	100%	

☆会費（会員）の種類☆

下記の会費を納入いただくことで、会員となり地域の福祉活動にご協力いただいています。

○個人会費：1□ 1,000円（世帯） ○賛助会費：1□ 5,000円（法人）

レイカディア大学43期生募集！

- 修業年限：2021年10月～2023年9月
- 入学資格：60歳以上の県内在住者（2021年10月1日現在）
- 応募期間：2021年6月1日（火）～8月10日（火）
- 募集定員：草津校 145名 / 米原校 70名
- お問合せ先：滋賀県レイカディア大学

草津校：草津市笠山7丁目8-138 電話 077-567-3901

米原校：米原市下多良2-137 電話 0749-52-5110

※入学願書は、びわこシニアネット（<http://www.e-biwako.jp/>）からもダウンロードできます。

滋賀県レイカディア大学は、人生100年時代を迎え、また高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え、高齢者が新しい知識、教養・技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援することを目的として、滋賀県社会福祉協議会が開設しています。現在まで多くの卒業生が、県内各地において、ボランティアや仲間づくりなどの地域活動を行っておられます。

コロナ・コロナで振り回されて、地域の楽しみの多くがなくなり、この先がなかなか見えにくい中、皆さまお元気でいらっしゃいますか？ここで下を向いていてもコロナに負けてしまいそうなので、ほんの少し顔を上げて、このような中でも町内で行われている、楽しいことに目を向けてみませんか。

ボランティアグループ「よっといで」

川原のサロンに、ボランティアグループの「よっといで」さんが、紙芝居をしにいかれるとお聞きしました。一度観させていただきたいと思っていたので、サロンの方をお願いをしてお邪魔させていただきました。

この日の演目は「あらしのよるに」というお話。はるか昔、子どもの頃に絵本を読んだ記憶があります。当日は4人のボランティアさん(女性3人、男性1人)が川原の皆さんに紙芝居を披露してくださいました。代表の加納さんにお聞きしたところ、グループのメンバーは全員で6名いらっしゃるとのこと。紙芝居は、絵本や民話の中から題材を選び、みんなで手作りをしておられるそうで、とても温かみを感じたのはそういうことだったのかと、納得！また、ここで聞かせていただいた話の中にも、新型コロナウイルスが原因で色々ご苦労されている様子がかがえしました。以前は、紙芝居を見ていただきながら皆さんと歌を歌ったりしていたそうですが、このご時世、歌は今のところ封印して、飛沫に充分注意をしながら楽しいお話をされているそうです。

まだまだこの先、新型コロナウイルスがどうなっていくのか見当もつかない状況ですが、町内で様々な活動をしていただいている皆さまの中で、紙芝居を見たいと思って下さったら、日野町社会福祉協議会までぜひお声かけください!!



新しいこと、始めました☆

西大路公民館で「認知症いやりセミナー」という講座が始まりました。



きっかけは、「脳いきいきゲーム」を公民館でできないかと、西大路にお住まいの「スマイルひの」のメンバーさんが公民館に相談をしたところ、トントン拍子に話が進み、今年度の公民館主催事業に組み入れてくださいました。また、社協にも相談に来ていただきましたので、お手伝いさせていただくことになりました。

毎月第3火曜日の13:30～15:00。全12回の予定で、早速4月20日から始まりました。初めに、塚本公民館館長が「きょういく・きょうよう」が大切。「今日行くところがある・今日用事がある」毎日の生活の中でそれを意識していくことが、

心と身体の健康に繋がるとお話くださいました。

毎回前半30分は、町内の色々な方のお話を聞かせていただき、その後「脳いきいきゲーム」で楽しい時間を過ごしていただく、あまり肩の凝らないそんなセミナーにできたらいいな～、と計画されました。

第1回目は、西大路地区・その他の地区からの方、「スマイルひの」のメンバーに役場からの参加者を含め、約30名がゲームを楽しみました。

これを読んで気になられた方は、西大路公民館または、日野町社会福祉社協までお問い合わせください。

☺ 一日一回、笑っていますか？ ☺

昔から「笑う門には福来る」という諺ことわざがあります。笑うこと！一日の中で、テレビを見ながらでもいいので、お腹の底から笑うことが免疫力を高めると言われています。

今までも様々な感染症が発生しています。身近なところでは、風邪、インフルエンザ、日本脳炎、はしか等色々あります。それぞれに合った薬やワクチンなど、予防の手立てが確立されているので安心ですが、厄介なのは「新型コロナウイルス」です。気になるワクチンは、医療従事者への接種が終わり、5/17から高齢者へ接種開始となったところです。まだまだ心配は尽きませんが、まずは自分で出来ることを見つけて感染予防に気を付けるしかありません。そのなかで一番簡単なこと、一日一回ちゃんと声を出して笑ってみませんか？ 気休めかもしれませんが、免疫力がきつと高まると信じて🌸



相談のご案内

～お気軽にご相談ください～

法律相談 (要予約)

法律的な専門知識が必要な相談を受付けています。

*相談日

- ① 6月7日 (月) ② 7月5日 (月)
- ③ 8月2日 (月) ④ 9月6日 (月)

*相談時間 午後1時30分～午後4時まで
1人あたり30分 (各日5名まで)

*相談場所 日野町勤労福祉会館応接室

*相談員 京町法律事務所弁護士

*事前予約が必要です(毎回先着5名)

日野町社会福祉協議会までご連絡ください。
あらかじめ相談概要をお伺いします。

よろず相談 (予約不要)

*相談日時 第3以外の木曜日 (祝日を除く)
第2・4木曜日は、特設人権相談所も併設しています。
午前9時～正午まで
(受付締め切り時間は11時30分)

*相談場所 日野町勤労福祉会館応接室
よろず相談の予約の必要はありません。
相談のある方は直接会場へお越しください。

【日野町社会福祉協議会 電話52-1219】

行政相談 (予約不要)

行政サービスに関する苦情や相談を受付けています。

*相談日時 第3木曜日 (祝日を除く)
午前9時～正午まで
(受付締め切り時間は11時30分)

*相談場所 日野町勤労福祉会館応接室

ほっこりカフェ

在宅で高齢者を介護されている方の、毎日の介護で疲れた身体と心を癒していただくための場です。
都合のつく時間にお気軽にご参加ください。

日にち	内容
6月9日 (水)	七夕☆カフェ
7月7日 (水)	自宅でプラネタリウム
※8月のほっこりカフェはお休みです。	
9月9日 (木)	男性介護者の集い

*時 間：13:00～15:00
*場 所：日野町勤労福祉会館
*問 合 せ 先：日野町社会福祉協議会
☎ 5 2 - 1 2 1 9



善意銀行だより

(令和3年2月1日～令和3年4月30日まで)

〔現金預託〕

〈順不同敬称略〉

預託者	金額
ポンポンシアター	10,000円
(株) ダイフク滋賀事業所	18,572円
善意の箱	1,476円

〔物品預託〕

〈順不同敬称略〉

預託者	物品名
洗 剤	10箱
匿 名	カップ麺1箱
上野田 匿名	野 菜

善意銀行への温かいご寄付ありがとうございます。
みなさまの善意を地域福祉向上に役立てていきます。
また、野菜や物品のいただきものは町内施設や社協事業などで使わせていただきます。

ありがとうございました



北脇子ども会では、字でアルミ缶回収をされ、今年で10年になります。回収による収益は、2年に1回まとめて寄付してくださっています。

令和3年2月25日、震災にあった子どもたちのために、と今年も寄付をいただきました。

日本赤十字社滋賀県支部を通して、東日本大震災の被災者の方へ送らせていただきました。

ありがとうございました。